

ながえっこあきまつりをひらこう

～ながえのあきのみりよくをひろげよう～

本単元で育成する資質・能力

郷土愛、主体性・協働性、思考力・表現力

1 単元について

本単元は、「小学校学習指導要領解説生活編」内容（5）（6）の内容に基づき設定した。

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心するとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気関心するとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

(1) 単元観

本単元では、長江の町を探検しながら、今まで経験した春や夏の様子と秋の自然や町の様子の変化に関心し、秋が感じられるものを見つける活動を通して、長江の季節の移り変わりを感じるとともに、秋の魅力が発見できることをねらいとしている。また、自分たちが見つけた秋の魅力を発表したり、秋の収穫物を活用した遊びを他学年の児童に楽しんでもらったりする場を設定する。これらの活動を通して、諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合うことで、自然の素晴らしさを十分に味わうことができるとともに、自分たちが住む長江の魅力にも関心することができる。また、友達と試行錯誤を繰り返しながらかつくりをすることで自然の面白さや不思議さに関心し、友達と共有したり、協働しながら遊びを作り出したりすることは、人とのかかわるコミュニケーションスキルも高められると考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

「アンケート」（自作）の結果、以下のような傾向がみられた。

| 質問 | 肯定的回答 | 課題 |
|---|-------|--|
| 「夏遊び」では、友達の考えと自分の考えを比べて考えることができましたか。 【思考力・表現力】 | 82% | ・友達の考えを反応しながら聞けるようになってきているが、比較しながら聞くことは難しい児童もいる。 |
| 「夏遊び」では、自分から進んで、研究することができましたか。 【主体性】 | 88% | ・聞き手のことを考えながら、自分の考えをわかりやすく話すことが難しい児童もいる。 |
| 「夏遊び」では、友達と協力して、研究しましたか。 【協働性】 | 94% | ・現時点での活動を楽しむことはできるが、学びを膨らませていくことは難しい児童もいる。 |

本学級の児童は、身近な自然や身の回りの環境に対して興味や関心を持っており、校庭の夏見つけやアゲハチョウの幼虫の観察やあさがおの観察をする中で、見つけたものや気付いたことを積極的に伝えようとする姿が見られるが、自分の考えを一方向的に伝える児童が多く、相手に分かりやすく自分の考えを伝えたり、他者と協働しながら活動したりすることが難しい児童が多い。原因として、①他者の考えを集中して聞くことが難しい。②他者の気持ちを考えながら遊んだり活動したりすることが難しいからだと考える。本中学校区で特に育成を目指す主体性・協働性については、他者とのかかわりを通して、自分の考えを深めたり広げたりすることや、他者と協働してよりよい考えを生み出したりすることに課題がある。そのために、学習の「振り返り」で、友達の考えの良さに気付かせることで、協働的な学びの楽しさを感じながら自分の学びを振り返ることができるように指導している段階であるが、他者と協働して自分の学びを広げたり深めたりするという段階には至っていない。

(3) 指導観 ★主体性・協働性を高めるための手立て

思いや願いをもつ場面では、秋について知っていることや園などで経験した遊びなどを「分類する」すべを使って整理し、秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもたせ、休憩時間などを活用しながら秋を感じられるものを集めていくことができるようにする。

感じる・考える場面では、春や夏との違いをくらべたり、関係づけたりしながら、季節によって町の様子が変わるとともに、生活の様子も変わっていくことの面白さや自然の不思議さに気付かせる。

★活動や体験をする場面では、休憩時間などを活用して集めた秋の自然に自由に触れることができるスペースを設けたり、秋の話題を出したりすることで、秋の自然や身近にあるものを利用して、遊びを考えたりおもちゃ作りをしてみたい。と思えるような環境構成をしていく。

表現する場面では、今までお世話になった身近な人に「長江の町の秋の魅力をひろげる」という目的意識をもたせ、自分たちが気付いた長江の町の秋について発表したり、自分たちが作った秋のおもちゃで長江の秋を楽しんでもらったりする「ながえっこあきまつり」を開くことができるようにする。また、秋の思い出や秋の自然と自分とのかかわりなどについて振り返り、これからの生活に広げたいという意欲をもたせる。

2 単元目標

秋の自然を見つけたり遊んだりする活動を通して、春や夏の自然との違いや秋の特徴を見つけ、それらを利用して遊びやおもちゃを作りながら、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、それらを取り入れて自分の生活を充実させていくことができるようにする。

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>①長江の植物や生き物、校庭の変化の様子や特徴から、季節が夏から秋に移り変わっていることに気付いている。 【郷土愛】</p> <p>②秋の季節の特徴を生かしたり、秋の収穫物や身近なものを使ったりして楽しく調べることや、それらの性質の不思議さなどに気付いている。</p> <p>③みんなで活動する際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。</p> | <p>①今までの体験を生かしながら、関心をもって秋の季節について考え、友達に伝えている。</p> <p>②諸感覚を使って秋の特徴を感じながら、秋の植物や生き物を観察している。</p> <p>③予想したり、確かめたり、見立てたりしながら、自分なりの遊び方を工夫している。</p> <p>④伝えたいことが相手に伝わるかどうかを考えながら、伝える内容や伝える方法を考えて発表している。 【思考力・表現力】</p> | <p>①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や長江の秋と触れ合おうとしている。【主体性】</p> <p>②自分たちが気付いた長江の町の秋の魅力を広めたいという思いをもって発表や遊びを工夫し、友達と一緒に発表会を楽しもうとしている。 【主体性・協働性】</p> <p>③長江の自然を使って遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。</p> |

4 単元における長江中学校区で育成を目指す資質・能力のルーブリック

| 評価 | | B | A |
|---------------|---------|--|---|
| 資質・能力 | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 主体性・協働性 | <ul style="list-style-type: none"> 目標をもって、秋の自然を取り入れたおもちゃや遊びを考えている。 長江の秋の自然を取り入れたおもちゃや遊びを楽しむために、自分の意見を友達に伝えたり、友達の意見を聞いたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 目標をもって、秋の自然を取り入れたおもちゃや遊びをより良くしようとしている。 秋の自然を取り入れたおもちゃや遊びをより楽しくするために、友達の意見を自分のおもちゃ作りに生かすことができる。 |

5 指導と評価の計画（全16時間）★主体性・協働性を高めるための手立て

| 小単元名（時間） | 学習活動 | 評価 規準 | 評価方法 | 教科との関連 |
|---|--|--------------------------------------|---|--|
| 1 あきはどんなきせつかな？（2） | <p>思いや願いをもつ</p> <p>★<u>自分の知っている秋の季節の食べ物や植物、生き物、行事などについて他者と伝え合い、長江の秋を見つけたいという思いをもつ。</u></p> <p>・「あきとなかよし」の学習でやってみたいことを話し合い、学習計画をたて、単元の見通しをもつ。</p> | <p>思① 知①</p> <p>主①</p> | <p>行動観察 発言</p> | <p>算数科 【かぞえうた】 物の数を数えるとき、どんな数詞を使えばよいかを考える力</p> |
| 2 もっとあきのたからものをさがしにいこう。（6） 本時 3 / 16 （1 / 6） | <p>感じる・考える</p> <p>★<u>休憩時間などを活用して身近な場所で集めてきた「あきをかんじられるもの」に触れながら、どんな遊びやどんなおもちゃが作れそうか、必要なものについて考える。</u></p> <p>・もっと秋の収穫物を集めるために長江の町へ探検に行く計画を立てる。</p> <p>・どの場所にどんな秋の収穫物があるのか、秋の魅力が感じられる場所はどこかを確認しながら旧長江小学校や長江の町へ探検に出かける。</p> | <p>思② 知②</p> <p>主①</p> <p>思②</p> | <p>行動観察 発言 ループリック</p> | <p>算数科 【かたちあそび】 分類・比較するツールを使って、形の特徴ごとに分類する力</p> <p>国語科 【はっけんしたよ】 観察した動植物の様子を伝えるために必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして書く力</p> |
| 3 あきであそぼう（5） | <p>活動や体験をする</p> <p>★<u>秋の収穫物を見ながら遊び方やおもちゃ作りについて、グループで相談しながら詳しく計画したり、おもちゃを作製したりする。</u></p> <p>・作ったおもちゃで遊ぶ。</p> <p>★<u>遊びを交流し、他者のアドバイスをもとに、レベルアップさせる。</u></p> | <p>知③ 思③</p> <p>知③ 主②</p> | <p>行動観察 発言 ループリック</p> | <p>国語科 【なにに見えるかな】 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて楽しく話をつなぐ力</p> |
| 4 ながえのあきにみりょくをつたえよう（3） | <p>表現する</p> <p>・見つけた長江の町の秋の魅力や秋の遊びを誰にどのように紹介するか考える。</p> <p>・見つけた長江の町の秋の魅力や秋の遊びを紹介する。</p> <p>・秋の季節の不思議さや面白さ、工夫して遊んだことを自分なりの方法で表現し、これまでの学習を振り返る。</p> | <p>主② 思①</p> <p>思④</p> <p>主③</p> | <p>行動観察 発言 振り返りの記述 ループリック</p> | <p>国語科 【はなしたいなききたいな】 経験したことなどから伝え合うために必要な事柄を選んで話す力 図画工作科 【おしらせします！にっこりニュース】 たのしかったことやうれしかったことを絵に表す力</p> |

6 本時の展開



(1) 本時の目標


- 「あきをかんじられるもの」に触れながら、それらの特徴や変化を見付け、秋の収穫物や身近な物を使った遊びやおもちゃを考え出そうとしている。 【思②】

(2) 準備物

既習事項の掲示物、ワークシート、秋の収穫物

(3) 本時の学習過程 (3/16時)


| 段階 | 学習活動 ★主体性・協働性を高めるための活動 | 教師の働きかけ 支援○ 評価☆ 方法【】 ★主体性・協働性を高める手立て |
|------------|--|---|
| 課題設定 (5分) | <p>○前時までの学習を振り返り、学習計画を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋の食べ物を食べたよ。 木の葉っぱの色が変わってきているよ。 飼っている秋の虫の様子が変わってきたよ。 秋の宝物を使った遊びについて考えたいな。 <p>○本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>あきのたからものにいっぱいさわって、あきをたのしむほうほうをかんがえよう。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">  <p>学びのすべ <u>ふりかえる</u> 学習計画をもとに前時までの学習を振り返り、自分たちが立てた計画を想起させ、本時に自分たちが取り組む学習課題へとつなげる。</p> </div> <p>○秋の様子動画を見ることで、秋を楽しみたいという気持ちを高めるようにする。</p> <p>★事前に教室内に身近な場所で集めてきた秋の収穫物を置いたスペース（「あきのちょきんばこコーナー」）を設置しておき、本時をむかえるまでに、秋の宝物がどんどん貯めていくことで、秋に対する気持ちを高められるようにする。</p> |
| 課題解決 (35分) | <p>★形や動き・触り心地などの面白さや不思議さについて話し合いながら秋の収穫物に触る。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな形の葉っぱがあるね。 集めたはっぱを触ると、カシャカシャと音がして面白いよ。 大きなはっぱを使って、お面が作れそうだな。 どんぐりの転がり方って、おもしろいね。 箱に入れて振ると面白い音が出るね。 <p>○グループで活動して気付いたことなどを全体で共有し、さらに秋を楽しみながら、どんな遊びやおもちゃが作れそうか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんぐりを飛ばして遊んでみたいね。 ぼくは、的当てゲームを作ってみたいな。 わたしは、得点ゲームを作ってみたいな。 〇〇さんの話を聞いて、楽器を作って友達とえんそうしてみたいな。 わたしは、きれいなはっぱを使って洋服をつくってみたいな。 | <p>★秋の収穫物に実際に触れながら、活動ができるように、グループ毎に秋の収穫物を用意する。</p> <p>○4人グループで活動することで、個人のつぶやきがしやすい場を設定する。</p> <p>★全体交流で活用するため、グループ毎にホワイトボードを用意しておき、気付いたことをすぐ書き残しておくことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>学びのすべ <u>かかわる</u> 全体で交流し合い、友達や他のグループの意見を聞き、さらに遊びを楽しもうとする。</p> </div> <p>☆「あきをかんじられるもの」に触れながら、それらの特徴や変化を見付け、秋の収穫物や身近な物を使った遊びやおもちゃを考え出そうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・発言・ループリック】</p> |

| | | |
|------------------|---|---|
| | <p>○秋を楽しむために、今後の計画について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • もっとたくさんどんぐりが必要だね。 • いろいろな色の葉っぱを集めないといけないね。 • 楽器を作るためには、空き缶があったらいいね。 • どこに行ったら、たくさんの秋が集められるかな。 <p>○まとめをする</p> <p>あきのたからものをさわりながら、ともだちとはなしあうことで、あきをたのしむほうほうをかんがえることができた。</p> | <p>★長江の町のマップを用意することで、探検に出かける意欲を高められるようにする。</p> |
| <p>振り返り (5分)</p> | <p>★本時の学習を振り返る。</p> <p>〇〇さんが、おもしろい遊び方を教えてくれたよ。</p> <p>〇〇くんと一緒に大きなどんぐりめいろを作るのが楽しみな。</p> <p>楽しく遊べるおもちゃを作るために、もっとたくさん秋の貯金を増やしていこう。</p> <p>〇次時への見通しをもつ。</p> | <p> 学びのすべ <u>ふりかえる</u></p> <p>本時の活動を振り返り、今後の学習活動の見通しをもたせるとともに、次時の学習活動への意欲をもたせる。</p> <p>〇振り返りの視点を与え、簡潔に書くことができるようにする。</p> <p>①分かったこと、できたこと（めあてに対して） ②友達とのかかわり（気付き） ③自分のこと（成長、変容） ④これからのこと（次時への見通し）</p> |

(4) 板書計画

めあて

あきのたからものにいっぱいさわって、あきをたのしむほうほうをかんがえよう。

 **かかわる**

まとめ

あきのたからものをさわりながら、ともだちとはなしあうことで、あきをたのしむほうほうをかんがえることができた。

ふりかえる

あきといえば…

| | | | | | | |
|----------|----|------------|---|----------------------|---|-----------|
| • 秋の虫 | 写真 | 葉っぱ | → | • カシャカシャ | → | • 洋服 |
| • 秋の食べ物 | 写真 | | | • パリパリ | | • リース作り |
| • 秋の植物 | 写真 | | | • 顔がかくれるくらい (大きい) | | • くるくる落ち葉 |
| • 生き物の様子 | 写真 | | | • 黄色やオレンジ色 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|------------|---|-----------|---|-----------|
| • 秋の虫 | 写真 | 木の实 | → | • コロコロ転がる | → | • こま |
| • 秋の食べ物 | 写真 | | | • 服にくっつく | | • やじろべえ |
| • 秋の植物 | 写真 | | | • まわる | | • まとあてゲーム |
| • 生き物の様子 | 写真 | | | • 重なる | | • ダーツ |
| | | | | | | • けんだま |
| | | | | | | • アクセサリー |

ふりかえる

〇〇さんと一緒に考えると、いい考えが思いついたよ。

〇〇くんに早く回す方法を教えてもらったよ。

〇〇くんと一緒におもちゃを作るのが楽しみな。